

大会規定

- (1)球場
バッテリー間は16m(ジュニア:14m)、塁間は23m(ジュニア:21m)とする。ホームランラインは両翼60mとし、ピッチャープレートを起点に両翼までの直線を半径とした半円のラインとする。ただし、グラウンドの状況により特別な取り決めを設けるものとする。
- (2)使用球
試合球はナイガイベースボールJ号球を使用する。
- (3)ユニホーム
選手及び監督はチームで統一したものを着用する。
- (4)選手集合
選手及び監督は試合開始時刻の30分前には集合すること。両チームの主将は、メンバー表を本部に提出し、トスにより先攻・後攻を決める。
集合時間に遅刻した場合は、監督は当該試合にベンチ入りできず本部席での待機とする(試合中の当該チームの抗議は認めない)
- (5)ベンチ及びシートノック
ベンチは抽選番号の若番を1塁側とする。ベンチに入る指導者は、監督・スコアラーを含め6名までとする。また、シートノックは5分以内とし、後攻チームから始める。
- (6)試合時間
1時間30分(ジュニア1時間20分)、7回(同6回)を限度とし、新しい回には入らない。**但し、Aの決勝戦は制限時間を適用しないものとする。**
- (7)延長戦
規定回数を終了するも勝敗が付かない場合は、特別延長戦を行う。ただし、決勝戦は試合時間に関係なく、延長9回(ジュニア7回)までとするが、それでも勝敗がつかない場合は特別延長戦を行う。
※特別延長戦(無死満塁方式)について
継続打順とし、前回の最終打者を1塁走者、2・3塁走者を順次前の打者として満塁の状態にして1イニング行い得点の多いチームを勝ちとする。1イニングで勝敗のつかない場合はさらに継続打順でこれを繰り返す。
- (8)コールドゲーム
降雨、日没等により試合続行が不可能となった場合は4回(ジュニアも同じ)を終了していればコールドゲームは成立する。なお、得点差によるコールドゲームは、4回(ジュニアも同じ)10点差、5回(同)以降7点差をもって成立する。
- (9)防具の使用
事故防止のため、捕手はヘルメット・マスク・プロテクター・レガースの着用を、打者、走者及びベースコーチはヘルメットの着用を義務づける。尚、手袋は使用してもよい。
- (10)バット
バットは金属製・木製・着色いずれも使用できる。「ビヨンドバット」も使用できる。また、ネクストバッターズサークル内での素振りは禁止する。
- (11)スパイク
使用禁止グラウンドを除き、ポイントスパイクの使用はできる。
- (12)投球練習
投手の投球練習は、原則として初回及び投手交代時は7球、次回より3球とする。なお、内野手のボール廻しは禁止する。
- (13)抗議権
ルールに関する抗議は監督のみとし、みだりにベンチから出ることのないよう審判員に説明を求めるものとする。
- (14)審判
前後試合相互審判4人制とし、1塁側チーム及び勝者チームが主審・2塁塁審を3塁側チーム及び敗者チームが1塁・3塁塁審を担当する。
ただし、決勝戦は連盟審判部が担当する。(2試合の場合:2-1 3試合の場合:3-1-2 4試合の場合:2-1、4-3)
- (15)審判員
審判員の服装は審判帽、白カッターシャツ(長袖・半袖)に紺または黒のズボンを着用するが、各所属連盟の審判服も可とする。
- (16)本部担当
決勝戦のみ自チームの試合について本部記録担当を各チーム1名ずつ出し、甲北連盟の本部責任者と協力して試合の運営をする。
- (17)ルール
全日本軟式野球連盟学童用及び全神戸軟式少年野球連盟規約に準じる。